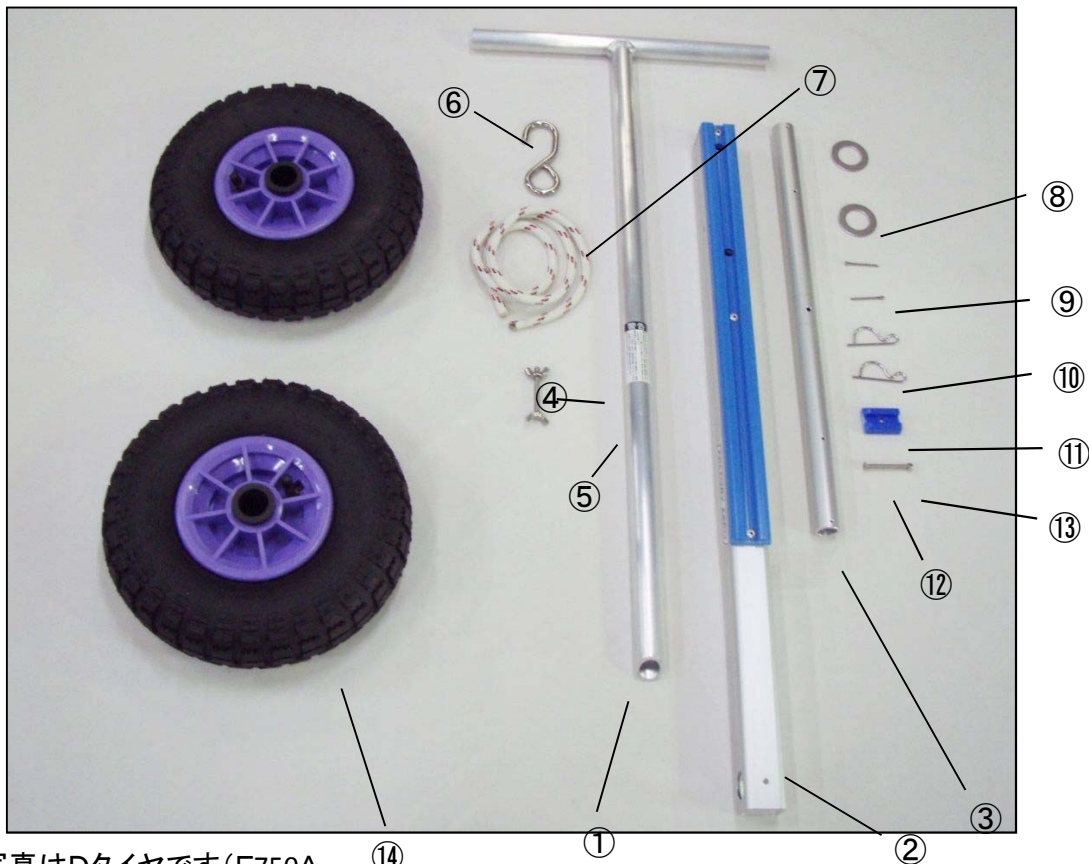


F750 バウダーリー部品図



写真はDタイヤです (F750A
はAタイヤがセットとなります)

F750

パウダーリー部品表

価格は1個当たりの消費税別価格です。

写真NO	品番	品名	数量	税別単価
①	F750-10	F750取っ手フレーム	1	¥6,000 +税
②	F750-11	F750立ち上がりフレーム	1	¥10,000 +税
③	F750-12	F750車軸 500mm	1	¥3,000 +税
		パックセット(ビニール袋入り)		
④	P14-6-50	蝶ボルト6-50	1	¥500 +税
⑤	P08-06	蝶ナットM6	1	¥130 +税
⑥	JL405	ランチャー & J-2000用ローφ8 X1.2M	1	¥500 +税
⑦	JL100-80	SUSイスカン SAP-8	1	¥1,200 +税
⑧	P06-27	Fタイヤ用ワッシャー M27W φ27xφ40x2t	2	¥240 +税
⑨	P10-3-35	SUS割ピン3-35	2	¥50 +税
⑩	Z521	Dリング 車軸用	2	¥250 +税
⑪	JL104-38-1	F750用当てレール38mmM5皿	1	¥80 +税
⑫	P02-5-50	SUSプラス皿5-50	1	¥50 +税
⑬	P15-05	SUSナイロナットM5	1	¥57 +税
		タイヤはご購入された商品により2種類有ります		
⑭	TA30D	Dタイヤ へアリング 410/350-5ホース幅82mm	2	¥4,300 +税
⑭	TA30A	Aタイヤ へアリング 4.80/4.00-8ホース幅82mm	2	¥8,400 +税

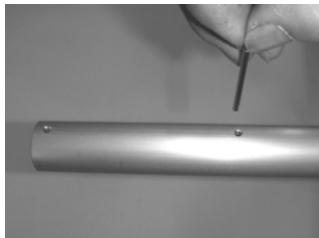
FACTORY ZERO

F750 バウドリー 取扱説明書

ご使用に当り艇体のバウアイ、バウリング、等のフック使用部強度が牽引使用に十分耐えられるかご確認ください。
無理に使用すると艇体を破損する恐れが有りますのでご注意ください。
特にインフレーターボートは取り付けバウリングの強度が不足している場合も有りますのでそのような場合は使用を中止してください。



③の車軸を②のフレームの丸穴に差込み青いレールが付いている向きに⑪当てレールと一緒に中央部分を⑫⑬のM5皿ネジ、ナイロンナットで固定します。



⑨割ピンを内側の穴(左右2ヶ所)に差込、プライヤーで先端を広げます。



⑧ワッシャーを入れます



⑭タイヤを入れ⑩Dリングで止めます



②フレームの上側の穴に①取っ手フレームを角度が合う方向に差し込みます。



取っ手とフレームを④蝶ボルト⑤蝶ナットで止めます(この部分は組み立て式となります)



⑦荷掛けフックに⑥ロープを縛ります(写真はもやい結びです)



フックに付いたロープをフレームの上側の穴に通します(2ヶ所穴が有りますが艇体のフックの位置によりどちらを使用しても良いです)



ロープの反対側の端止め(結び目)の長さで艇体の吊り下げ長さを任意の位置で決めます。



FRPボート使用例(トランサムドリーと併用します)



インフレーターボート使用例(トランサムドリーと併用します)

- ① ドリーを取り付けた状態での走行や帰港時の直接乗り上げはしないで下さい。一旦ボートから降りて引き上げて下さい。
- ② 本体の使用荷重はエンジン、装備等含めた船体重量Aタイヤ80Kg、Dタイヤ60Kg以内でご利用ください。
- ③ ボート移動の際無理な力で押したり引いたりしないで下さい。基本的には引いてご利用下さい。(下架時は押しませ)
- ④ 傾斜地では横転の恐れが有りますのでご注意ください。
- ⑤ 定期的にブラケット、取っ手等の取り付け等点検をして下さい。異常が感じられた時は使用を中止して下さい。
- ⑥ タイヤ空気圧は0.8Kg～1.0Kg以下にてご利用ください。
- ⑦ 車内等に入れる場合は多少空気圧を落とし、常時窓を開けて換気してください。
- ⑧ 直射日光の当たる所で保管しないようにして下さい。

タイヤご使用上の注意

このたびは当社製品のお買い上げまことにありがとうございます。
当社エアータイヤにつきまして下記のことに注意してご使用下さい。

TA30F / TA30G / TA30J (F タイヤ、G タイヤ、J タイヤ) (ジェットランチャー、ジェットバンク、L700 等に使用)

- チューブレスタイヤです、チューブは入っていません。
- タイヤ空気圧は約 0.8KG~1.0KG 位にてお願い致します。特に夏場は直射日光にて内圧が高まります必ず 0.8KG 以下でご使用下さい。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください、車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5KG 以下にして下さい、又、停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 冬になり気温が下がりますとタイヤの内圧が下がりチューブレスタイヤの為空気が抜けてしまう場合が有りますので船を載せて保管される場合は時々チェックをして下さい。
- タイヤが潰れたまま長期放置しますとタイヤがヒビ割れし空気再注入不可能となってしまいます、長期保管の場合は台車の下にブロック等を入れておくと良いでしょう。
- エアー漏れでも早期に対処していただければ十分再生いたしますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。

TA30A(A タイヤ) (アルミランチャー、トランスマスター等に使用)

- タイヤ空気圧は約 0.8KG~1.0KG 位にてお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります、又冬場は逆に低温にて空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください、車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5KG 以下にして下さい、又、停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化が早まりますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。
- 交換用タイヤ(外側) チューブ、別途販売しています、適宜交換下さい。

TA30D(D タイヤ) (マルチドロー、Z071 前輪、等に使用)

- タイヤ空気圧は約 1.0KG~1.5KG 位にてお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります、又冬場は逆に低温にて空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の再はなるべく車外にて搬送してください、車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5KG 以下にして下さい、又、停車時必ず窓を開け換気し直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化が早まりますので時々点検していただけるようお願い申し上げます。

上記全てのタイヤについて

- 車軸部にベアリングが内蔵してあります、ベアリング部にはグリス等塗布しないようにして下さい、砂、埃、が付着し磨耗の原因となります、ベアリング分は良く水洗して下さい。
- ベアリング部も消耗、紛失した場合は交換用部品がございますので、補修をしてください。
- 空気を入れる場合がソリスタント等においてある自動車、バイク用、空気入れで入れられます一般用自転車用空気入れではバルブ形状が合いません、詳しくはHPご覧ください。

空気圧換算表

kg	Kpa(キロパスカル)	pa(パスカル)	PSI(ポンド)	Bar(バール)
1	100	100000	14.2	1